

教職員自己紹介

豊坂 祐樹 (とよさか ゆうき)

情報科学部・助手

<略歴>

1982年福岡県宗像郡福間町(2014年現在福津市)出身、2001年九州工業大学情報工学部制御システム工学科入学、2005年3月同学科卒業、2007年3月九州工業大学大学院情報工学研究科情報科学専攻博士前期課程修了、2010年3月九州工業大学大学院情報工学研究科情報科学専攻博士後期課程修了。博士(情報工学)取得。



<研究内容>

私は現在、医療系データやオノマトペ(オノマトペとは擬音語、擬態語等の総称)等についてのデータ分析、予測する研究を行っています。医療関係の研究では患者のデータ(検査で得られるデータ)を元に、ある病気に関する重症度の予測する式を構築しています。オノマトペ関連の研究では、近年、ロボットの動作等に音の印象を組み込む研究が行われていますが、これらに音の印象を組み込むためにはコンピュータ上でも使用可能な数値として音の印象を数値化する必要があります。そこで、私の研究は、個人によっても異なる曖昧な音の印象や評価を数値化し、回帰式で音の各印象を表現することで、ロボット等を代表とするコンピュータのソフト面での活用を目指しています。

<担当(授業補助と学習支援室)>

私は主に数学やプログラミング系の授業補助と学習支援室を担当しています。今年度担当する授業補助は、情報リテラシー、WEBプログラミング演習、データ構造をアルゴリズムI、ソフトウェア演習(テーマA)、プログラミング基礎、データ構造とアルゴリズムIIです。学習支援室はその名の通り、学生の皆さんの学習を支援する場で、何かわからないことがあった場合(例:授業中わからなかったこと、宿題、レポート、試験対策等)や、それ以外でも聞きたいことがあった場合は気軽に相談に来てください。

前田 洋征 (まえだ ひろゆき)

情報科学部・助手

福岡県北九州市出身です。九州産業大学情報科学部知能情報学科を卒業後、九州産業大学大学院情報科学研究科情報科学専攻博士前期課程を修了後、九州産業大学情報科学部の助手に就任しました。

研究テーマは、組み込みシステム開発を学習するための教材の開発です。組み込みシステムとは、ある特定の機能を実現するために機器に組み込まれたコンピュータシステムのことです。具体例として、家電製品、車、携帯電話などが挙げられます。私は組み込みシステム開発の経験がない初心者を対象に、マイコンボードを用いて「ハードウェア」を「ソフトウェア」で制御することを学習し、応用として組み込み処理やポーリングといった組み込みシステム開発で重要な技術が理解できる教材の開発を進めています。

講義では、主に計算機システムや情報回路、情報回路実験などハードウェア系の授業の補助を担当します。講義時間だけでは内容を理解できなかつたり、課題が終わらないこともあると思います。そこで授業時間外に授業内容の質問や課題を取り組める場として学習支援室を開設しています。皆さんが課題等を最後までやり遂げられ、しっかり理解してもらえるようにお手伝い致しますのでぜひお気軽にお越しください。

本学の先輩として、学生の皆さんのお力になれるように頑張りますので、よろしくお願ひします。

